

平成23年月1日から平成30年11月2日に、当院で
甲状腺ヨード摂取率測定の検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：甲状腺ヨード摂取率測定による外来ヨード内服治療の効果予測の可能性

研究期間：研究機関の長の許可日～平成30年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 本杉 宇太郎

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

甲状腺癌にて甲状腺全摘術を受けられた患者さんは術後の再発予防としてヨード内服治療を行っています。この治療の必要回数が、事前のヨード検査で予測できるかを検討します。事前の検査で予測可能であれば治療期間の目安がつけやすくなります。

【研究の方法について】

当院で甲状腺ヨード摂取率の検査を受けた患者さんを対象に、外来ヨード内服治療の効果について調査します。

この研究に利用する臨床情報は、下記の通りです。これらの情報はすべて日常診療で実施される項目です。

- ① 患者基本情報：年齢、性別、診断名
- ② 血液検査(サイログロブリン)
- ③ 手術記録、病理結果(TNM分類、組織型)
- ④ 画像検査(I-123 トレーサスタディにおける甲状腺ヨード摂取率)

なお、この臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

また、この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お

申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学医学部放射線医学講座

准教授 本杉 宇太郎

電話 055-273-1111（代表）

（対応可能時間 平日9：00～17：00）